

市民委員会で頂いた主なご意見

第6回市民委員会(令和2年10月14日)

- 現状の市庁舎では、消防署が災害対策本部になると理解している。新庁舎が出来た場合は二中が対策本部になると書かれているが、分散化した時のコスト、関係性について教えてもらいたい。
- 集客交流拠点とは具体的にどのような施設であり、庁舎との関連について補足を頂きたい。市民団体が使用できるのかどうかなど。
- バスの利用者は高齢者が多く、市役所にもバスが乗り入れできるような設計にしておいた方が良いと思う。また、予定地付近に「高洲町」というバス停があるが、全ての路線が通るわけではないので、運行系統の見直しを行って乗り入れできるようになれば良いと思う。
- バスやタクシーの乗り入れ動線が確保できれば良いが、無理であれば周辺道路を利用してバス停を作るなどできればと思う。また、市役所・金融機関・駅などを循環するようなコミュニティバスがあれば周囲との連携ができ、お客様にとって便利だと思う。
- 財源は全て確保できているという理解でよろしいのか？また、スケジュールでは地方債の関係で令和2年度の着手と聞いているが、着手とはどこまで出来たら着手というのか？まだ、計画素案の段階で「着手」というのは拙速ではないのかと思う。
- 市外から来られる津久見の道路事情を知らない方でも、集客交流拠点に入りやすいよう217号線の右折・左折用の車線整備など、道路整備をお願いしたい。
- さまざまな再生可能エネルギーがあると感心するが、実際にはどのように考えているか教えて頂きたい。
- 新庁舎の津波避難機能については市民も大きな期待を抱いていると思うが、津波警報が出てから解除されるまで東北地震の際は1~2日程度かかり、また大雨や夜間、冬季、トイレなどを考えると、かなりの方がこの新庁舎に押し寄せてしまうのではないかと考えられる、周辺住民の方が大友公園や宮山公園へ進んで避難するような計画を立てないと大変なことになると思う。
- まちづくりの拠点となる新庁舎ということで、会議室など24時間、または、休日開放されるエリアがあり、まちづくりに活用できるというような基本計画という理解でよろしいか。

- 様々な配置方法を提案して頂いているが、自分のような素人にはどれが良いのか分からない部分がある。市民の利便性、使い勝手がいいような配置、特に駅・公園・人の流れ・車の流れを考えて、スムーズにいくような配置にしてもらえればと思っている。
- 前回の資料では庁舎の中にカフェテラスや展望デッキなどの構想があつてとても期待していたが、今回の資料では集客交流施設の方に記載されているようで、せつかく4・5階建ての建物を建てるなら津久見の海が見られるようなテラスやデッキがあつた方が良くと思う。
- 集客交流施設ということで、河津桜、イルカ観光と繋がるような施設になるのか？併せて、観光バスの駐車場についても考えてもらいたいと思う。
- 産業観光という所で、津久見市の産業や地域特産の展示スペース等、社会勉強が出来るような場所を設けて頂きたい。
- 話がバラバラで、まずは新市庁舎の中身を決めてもらって、集客交流施設についてはまちづくりや観光協会で考えた方がいいのではないと思う。避難の話も出たが、周辺地域のアンケートをとって考えてもらって、基本計画を立てる際は、新市庁舎の中身をがっちり決めてもらいたいと思っている。
- 中学校の統合問題についても、子どもたちが安全で安心して学べる環境、教育設備の整った学校が出来ることを、この場をお借りしてお願いしたい。